



令和4年1月7日

広島市長 松井 一實 様

広島市競輪運営委員会
委員長 伊藤 敏安

広島競輪場再整備・運営事業に係る事業予定者選定に伴う
企画提案書等の評価について（答申）

令和4年1月6日付け広経競第95号で諮問のありましたこのことについて
は、下記のとおり答申します。

記

〈諮問事項〉

企画提案書等の評価について

〈審議結果〉

別紙「評価結果」のとおり。

評 価 結 果

順位	プロポーザル参加者	総合得点（満点 200 点）
1	A 社	175.6 点
2	B 社	167.4 点

1 位の提案は、自転車によるスポーツやレジャー等の多様なニーズに対応する複合的な施設としての完成度が高く、また、広島市への積極的な財政貢献も認められる総合的に優れた提案でした。

具体的には、広島競輪場を、競輪とアーバンサイクルスポーツ※が融合する市民参加型都市公園「アーバンサイクルパークス広島」とし、宇品地区の新たなシンボル施設として再生するという計画でした。

今後、広島市においては、事業予定者を選定し、当該事業者とともに提案された事業計画を実現させ、競輪場としてだけでなく、スポーツ・レジャーなど市民が広く利用できる施設として、より一層市民サービスの向上に資するよう整備・運営されるとともに、ギャンブル等依存症に係る対策を確実に実施し、また、周辺環境に十分に配慮しながら、市財政への貢献が継続するよう競輪事業を長期にわたって安定的に運営していかれることを期待します。

なお、事業の実施に当たっては、堅実な実施計画の下、事業継続性を確保できるよう希望します。

※ アーバンスポーツとサイクルを組み合わせ、BMX やスケートボード、キックバイク等車輪がある乗り物全般を使った競技の造語